

研修医通信 Vol.117 令和4年5月号

済生会松阪総合病院 研修医2年目 藤崎真伍

この度は一か月間紀南病院で地域医療研修をさせて頂きまして誠にありがとうございました。

紀南病院では指導医の福井俊介先生と一緒に、病棟や内科初診外来、救急外来で沢山の症例を経験して、診察のすすめかたや薬の使い方等様々な医学知識について学ばせて頂きました。

なかでも自分が担当している入院患者さんの地域訪問を実際に行ってみて、患者さんはこの山奥の地で果たして退院後も本当に一人で暮らしていけるのだろうか、そのような「患者さんの退院後のその先について」考える時間をつくることができたのも大変貴重な経験になりました。同時に、そうしたへき地に住む方々にとっての診療所の役割の大きさについて認識し、診療所研修では地域ケア会議と一緒に参加させて頂いて、どのように他職種の方と地域の人々の生活を守る話し合いを行っているのかについても学ばせて頂きました。

また、神島診療所実習では小泉先生から離島診療における医療について貴重なお話を聞かせて頂きました。神島では診察はもちろん、画像検査を行うことも、治療についても全科一人で対応しなければならないこと。検査が限られている場所だからこそ、問診も身体診察もすごく丁寧に行い、いかに幅広い知識をもって診療に臨むことが求められるかについても実感致しました。

この地域医療の経験を通して、患者さんと話をして患者さんをしっかりと知り、ガイドラインにのみとらわれすぎない医療の大切さや、医療資源の豊富な都市部と違って、限られた医療資源の中でこそ求められる医療診察スキルの重要性を学びました。今後は、すぐに詳しい検査ができるから、すぐに他科の先生に相談できるからといった考えは捨て、自分ひとりしかいないと思って診察する気持ちで再度診療に対する心構えを見直そうと思いました。

この一か月間、研修はもちろん海や山に囲まれた景色の綺麗な紀南の地で、本当に充実した1か月間を過ごすことが出来ました。この1か月間研修に関わって下さった全ての皆様方、本当にありがとうございました。

